



ドリラス

富山県

No.79 2016年4月

中央植物園だより



第18回私の植物写真展入選作品「桜舞い散る」 撮影/亀谷寿一さん

シダレザクラ (バラ科)

別名イトザクラとも呼ばれ、枝の成長が速く下向きに垂れるエドヒガンの栽培品種で、優美な風情をもつことで古くから各地で栽培されています。

今年のサクラ「ウナンザクラ」

富山県中央植物園では毎年「今年のサクラ」を決めて、その種類の紹介や植物画の展示を行っています。2016年は中国原産のウナンザクラ(雲南桜)です。今年は中国雲南省昆明植物研究所との友好提携20周年の年にあたることから、ウナンザクラが選定されました。このサクラは園内の雲南植物コーナーで4月上中旬に見ごろとなります。また、園内のインフォメーションコーナーではウナンザクラの植物画の絵はがき(4枚1組)も販売しております。



BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

クリスマスフェア 開催レポート

今年度はミラノ万博が開催されたのにちなみ、「イタリア」をテーマ 12月4日から6日まで開催しました。植物企画展示ではイタリアのクリスマス料理には欠かせない西洋野菜を中心に展示しました。またサンライトホール中央には恒例となったポインセチアの鉢で作ったクリスマスツリーを飾りつけました。

クリスマスコンサートでは地元鷺坂小学校5年生、富山少年少女合唱団、TLCキッズクラブ、トリプレッツ plus による合唱のほか、富山古楽協会による演奏が行われました。県内の農家による西洋野菜や中央農業高校による花苗などの物販、クリスマス飾りの製作体験コーナーもあり、クリスマススूप「バルシチ」の無料配布は長蛇の列ができるほどの人気がありました。期間中天気にも恵まれ、多くの来園者に植物園のクリスマスを楽しんでいただきました。



サンライトホール正面の職員手作りのクリスマス飾り



販売ブースでは自宅で楽しめる食材や花苗を多数販売



西洋野菜の展示の一部



クリスマスリース作りは例年人気



クリスマスに合わせた衣装で演奏する富山古楽協会のみなさん

植物園トピックス

熱帯果樹温室に新しい展示コーナー「みんなパイナップル」

2月から熱帯果樹温室の2階観察路の一角に新たな展示コーナーができました。温室植物や観葉植物として親しまれているパイナップル科の植物を集めて立体的に展示しています。パイナップル科の植物はほとんどが南米や西インド諸島原産で、最近園芸店でもよく見かけるエアープランツのチランジアなども実はパイナップルの仲間です。



第3回クリスマスローズ展 開催レポート

2月19日から21日の3日間、第3回クリスマスローズ展が富山クリスマスローズの会、富山県クリスマスローズ生産者組合との共催で開催されました。今年は富山県の生産者が作出した「黒いクリスマスローズ」を中心に展示しました(写真左)。また、20・21日には松浦克郎氏(松浦園芸)を講師に栽培講習会が開催され、会場のドリアスホールがほぼ満席となりました。講演後にはクリスマスローズの愛好家から多くの質問が寄せられ、盛会のうちに終了しました。



「黒いクリスマスローズ」



栽培講習会で講演中の松浦克郎氏

研究紹介◎『立山に分布するササについて』

企画情報課主任 吉田めぐみ
栽培展示課主任 高橋 一臣

立山は富山県を代表する山岳観光地で、立山黒部アルペンルート沿いでは山地帯から高山帯にかけての多様な植生を見ることができます。この地域にはまたササ属の植物が多く生育していることがこれまでの調査で報告されています。ササ属は分類や同定が難しい植物として知られ、調査者によって分類群の認識が異なることや、雑種形成が起こりやすいこと、分類の基本となる形質が乏しいことなど同定を困難にしています。そこで2013年より立山黒部アルペンルート沿いの美女平から室堂までを対象に、出現するササ属植物の種と分布を調査し、ササが生育する群落の植生調査を行っています。

現在までにチマキザサ節のチマキザサ、ヤヒコザサ、クマイザサ、チシマザサ節のチシマザサ、オクヤマザサの5種を確認しています。またこれまでの文献では低標高地にチマキザサ、高標高地にチシマザサが分布するとされていましたが、標高に応じてチマキザサ節とチシマザサ節の分布が入れ替わる傾向は見られず、調査したほぼ全域にチマキザサ節の種とチシマザサ、オクヤマザサが出現しました。チシマザサは美女平やブナ坂では樹林帯中に生育していますが、弥陀ヶ原の力

ルデラ展望台では高さ2mを超える純群落を作っていました。

弥陀ヶ原の池塘周囲では矮生化したチマキザサが生育していました。室堂平ではミクリガ池周囲など尾根部にササが分布していますが、雷鳥沢、浄土沢など谷部ではササの生育が確認できず、分布の最高地点は室堂乗越から剣御前への登山道沿い2,694m(オクヤマザサ)でした。

またササ群落の種組成を明らかにするため、弥陀ヶ原、室堂のササが優占する群落4地点で植生調査を行いました。全ての地点において低木層はササが大きい優占度を占め、これに被陰されているため草本層の植被率はいずれも10%以下でした。4地点のササ群落に共通して出現する種は少なく、むしろ周囲の植生に生育する種が出てきており、各々の地点の立地を反映していると考えられました。

大雪山では温暖化に伴い高山帯での融雪時期が早まり、ササの分布拡大が報告されています。立山地域においてササ群落が分布拡大しているかを明らかにするため、過去の空中写真を使った解析を行っていく予定です。



みどり尾根のオクヤマザサ群落



立山最高地点のオクヤマザサ (2694m)

ラン温室の紹介

ラン温室は一年中ランの花を楽しんでいただけるように、鉢物を入れ替えながら展示しています。一年のうちで12月から3月にかけては多くの洋ランの種類が開花期となるので、花の少ない冬の時期を彩ります。近年はより明るく、鮮やかな花色を見ていただけるように展示環境を工夫しています。

ランの鉢が一面に並んだ洋ラン展示コーナーの裏側には、ランの野生種を中心に生育地の環境を再現した植栽展示があります。フラグミベディウムやカクチョウランなどこの場所に定着した種類もできました。ランのほかに同じような環境に生育するベゴニアやパイナップル科のコレクションも展示しています。



ラン温室に入って正面の洋ランの展示



洋ランの展示の裏側の野生ランなどの植栽コーナー

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

企画展「海外に咲くサクラ」

3月18日(金)～4月24日(日)

第37回 春のラン展

4月29日(金・祝)～5月1日(日)

第35回 ツツジ・シャクナゲ展

5月3日(火・祝)～5月5日(木・祝)

私の植物画展

5月7日(土)～5月25日(水)

さつき展

5月27日(金)～5月29日(日)

6月3日(金)～6月5日(日)

夏のラン展

7月9日(土)～7月10日(日)

■特別開園 第5回さくらまつり

4月上・中旬の土日を含む4日間
(開花状況により変更することがあります)
特別開園/200円

■講座・講習会

★栽培講習会 「ランの栽培と管理」

4月30日(土)・5月1日(日)

14:00～15:30

会場 ドリアスホール

入園料が必要です。

★植物写真教室 ◎要申込 「やさしい花の撮り方」

5月15日(日) 13:00～16:00

会場:管理研修棟研修室

植物画講習会 ◆要申込

5月21日(土)・22日(日)

10:00～16:00

会場:管理研修棟研修室

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

－ボランティアと歩く 植物園－

第1,2,4日曜日 13:30～14:00

－園長と歩く 植物園－

第3日曜日 13:30～14:00

集合場所/サンライトホール

緑のコンサート

5月7日(土)、6月4日(土)、

7月2日(土)

14:00～15:00

◎要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から前日までに「電話」でお申込ください。

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から電話、往復はがき、FAX、メール(botanic@bgty.com)で受付けます。

★印は植物園ボランティアの養成講座です

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00 (入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)
休園日 毎週木曜日
(4月中とGW、お盆、祝日の場合は開園)
年末年始 (12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 500円
団体料金(20名以上) 400円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料
冬期入園料(12月～2月)
大人(一般および大学生) 300円
団体料金(20名以上) 240円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料
年間パスポート(購入日より1年間有効) 2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファポーレ」経由萩の島循環または「ファポーレ」経由速星行き(休日のみ)に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分